

# GOVERNOR's Monthly Letter

ガバナーズ マンスリー レター

D2580  
ガバナー月信

# 3

MARCH 2020 Vol.9

発行

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館1階  
TEL: 03-3538-0211 FAX: 03-3538-0212  
E-mail: office@rid2580.org URL: https://www.rid2580.org/



## 地区大会を終えて

国際ロータリー第2580地区

2019-20年度ガバナー

新本 博司

先月の地区大会では、大変皆様にお世話になり、有り難うございました。お陰様で、無事に平和フォーラム、ロータリーデーを含む地区大会を終えることが出来ました。

1月末には次年度の方針が発表され、それに向かって動き出しておりますが、地区大会が終わったから今年度は終わりではありません。6月末まで、地区方針として掲げました「奉仕の実践/平和で明るい未来」を遂行していただく様、お願い申し上げます。

今年度PETSで皆様に申し上げた地区方針を、敢えてここに掲げさせていただきます。

### 「奉仕の実践/平和で明るい未来」 一期一会の心で奉仕の実践を

私たちは、先輩や友人、知人に紹介され、勧誘の言葉に刺激を受け、加入の決意をし、ロータリークラブの会員になったと思います。

ロータリークラブが何をする団体かを知らずに入った人も、社会に貢献する団体と認識し、選ばれたことに誇りをもって入会した人も、動機は様々ですが、「一期一会」の関係をもったことは



事実で、「一つ一つの機会を大切にする」縁で結ばれたということでしょう。

価値観を分かち合える人を見つける為に創設されたロータリークラブが、長い年月の経った今日も変わらず輝きを増しています。それは誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を信じ、そして人生の最大の目的は人類のために奉仕することと信じている人々と行動を共にするからだと思います。

親睦のために集まる会合は、日常どこにもあります。ロータリーは、形式や堅苦しさには囚われず、社会的な地位や身分とは無関係に、どの国の人も対等な立場で会合を開いているので、お互いの友情が育まれるのです。この友情が続けば国家や宗教などの境界が消えることをロータリーが実証したのです。

ロータリーのロゴである歯車が止まることなく、地域や時を超えて世界平和に向けて回り続け

るには、どうすればいいのでしょうか？

地域単位で構成されるクラブにとってロータリーの掲げる相互理解と国際親善の推進、即ち「奉仕の精神」を振興することこそ、活性化に不可欠です。

## 不易流行で明るい平和な未来を

ロータリーは世界の恒久的平和を推進することを強く求めて活動しています。ロータリーの理念をしっかりと踏まえた上で、時代の流れとともに私たちの背景が大きく変化している状況に対応し、入会してよかったと思えるクラブになることが大事だと考えます。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎とし奉仕の理念を推奨し、これを育むことにあり、ロータリアン一人一人が個人として、事業及び社会生活において、日々奉仕の理念を実践することにあります。まさに今こそ原点に戻り、各クラブに於いて地域や社会のニーズを掘り起こし、2019-20年度計画を立て、実践することです。即ち、実践なき奉仕は無きに等しいのです。

日本のロータリーが誕生して、2020年に100周年を迎えます。これは、先輩ロータリアンがロータリーに魅力を感じ、次世代につないできた結果です。これからも未来を築いていくには、ロータリアン、ロータリークラブ、地区、RIが、私たちを取り巻く地域社会、国際社会、経済環境の変化、また人々の価値観の変化と向き合う必要があります。様々な技術、情報があまりに速く世界を駆け巡る中、迅速な対応は容易ではありません。

私たちがロータリークラブに入会し、その組織基盤をベースにして活動するのは、自分たちの心の中に存在する社会を少しでも良くしていきたい、人の役に立ちたいという気持ちを実践する時

に、より効果的に、より多くの成果を求め、自分たちの職業を生かした奉仕をしたいと考えるからです。よって奉仕活動の実践内容を、今の地域社会のニーズの変化に適応したものに変えていく必要があります。

本年度は改めて、ロータリーの活動の価値を一人一人が見出し、自らが実践するロータリアンとして、昨日と違う自分を見つけ、継続して実行する人になる年にしましょう。ロータリアン一人一人が誰からも尊敬と信頼される社会人として存在することが、会員増強に繋がり、牽いてはロータリー存続を保証することになります。

## 第2580地区方針 重点項目1. 公共イメージと認知度の向上

ロータリーという名前を耳にしたことがあっても、どういう活動をしている団体なのか、理解しているか、の問いに世間（クラブ会員を含め）35%がよく知らない、というのが現実です。

「長年ロータリーは広報や認知活動に努めることなく、地元や世界でどれだけ素晴らしい活動をしているのかを、もっと効果的且つ積極的にマーケティング活動することによって、ロータリーの公共イメージを高める必要がある。」（ジョン・ジャーム元RI会長）

奉仕の実践を通し、クラブを活性化し、活動状況を、ソーシャルメディアを活用して、PRしていきたいと考えます。

①その為に、地区公共イメージ向上委員会を立ち上げます。

奉仕を実践し、それをメディアを使って社会に知らせることを、目標とします。認知度の向上、会員の積極性向上、地元プロジェクトに対する協力と支援など、どの様な形が採れるかを、委員会で検討して貰います。そして、年間を通じて最もインパクトの高いクラブ・個人を審査し「よいこ

とをした大賞」の授与も計画しています。

委員会やクラブには、ロータリーショーケースの利用を推進します。奉仕の実践を、タイムリーにロータリーショーケースに載せることは、情報の提供の第一歩と考えます。ロータリーショーケースに載った奉仕活動を、積極的にメディアで紹介していく方法も、採れば良いと思います。

②またロータリー活動を一般の方々にPRするイベントとして、地区・分区そしてクラブでロータリーデーを開催することを奨励します。

皆さんには、ソーシャルメディアへの記事掲載をして頂き、メディアにも記事を掲載して貰いたいと願っています。そして、クラブ規模のロータリーデー開催に繋がることを、期待します。

公共イメージ向上委員会は、1年間かけて、どうやって社会にロータリーの奉仕活動を認知して貰えるかを検討して頂きたい。クラブは、公共イメージ向上委員会と連携して、奉仕の実践を社会に発信して頂きたい。

## 重点項目2. 奉仕の実践

我々は自己犠牲の上に奉仕活動をしているのでしょうか、決してそうではありません。少子高齢化社会は予想以上に、しかも急速に進んでいます。その結果、日本各地で限界集落が増えていきます。人口が減ることはあらゆる職業に影響を与えます。奉仕したくても時間が取れないということもあるでしょう。

しかし、現代は都会のみならず地方でも人々の付き合いは希薄化し、結果、子どもの貧困など住み難い社会になっているのはご承知の通りです。これらの諸問題は自らの職業、会社と無関係に存在しているのでしょうか、そうではありません。

自分が住んでいる地域社会の治安が悪く、老後を安心して暮らせないと思うと、その地域から離

れていきます。結果、その地域は疲弊し、商売も成り立たなくなります。要するに奉仕は自己を犠牲にして行うのではなく、奉仕することが自分の職業を存続させる道だと気付くことです。奉仕をどの様にしていけば良いのか、迷うクラブもあると思います。ロータリーの奉仕は、クラブ単位で行われます。社会奉仕委員会は、どの様な社会奉仕がロータリークラブに出来るのか、情報の発信場所となって、クラブを引っ張って頂きたい。実践あってこそその公共イメージ向上です。

## 重点項目3. 青少年奉仕活動の強化

マローニー会長は、青少年奉仕活動に大変な理解を示しています。ローターアクトを、国際協議会のオブザーバーでなく、ロータリアン同様の参加をさせたことから、明らかです。ローターアクトの設立を、クラブにお願いします。設立していないクラブには、ぜひ設立の検討をして頂きたい。

インターアクトクラブの設置や、青少年交換のホストファミリー問題の解決も、重要です。青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、RYLA委員会等と連携して、クラブが青少年奉仕活動を活発化する様、期待します。青少年奉仕は、平和で明るい未来を作るために、不可欠な要素です。

## 第2回RYLAセミナーが開催されました

1月17日～19日（日）の三日間、沖縄県金武町のネイチャーみらい館で第2回RYLAセミナーが開催され、初日の開校式と最終日の閉校式に出席しました。

RYLA（Rotary Youth Leadership Awards/ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、RI

が推奨する4つの青少年奉仕プログラムのひとつで、そのセミナーをロータリアンが自ら作り上げるという意味でも、とてもロータリーらしい青少年奉仕と呼ばれています。

今回のセミナーは東京から20名、沖縄から8名の20～30歳の男女が各クラブの推薦を受け集まり、3つの班に分かれてロータリアンがカウンセラーとなり、2泊3日を受講生に寄り添いながら共に過ごします。

3人の講師の講義で考え、親睦を深め合うレクリエーションを通じ、班自体がひとつにまとまっています。そしてセミナーのメインであるフォーラムテーマを徹底的に議論し、グループワークを重ね、自らの生き方を見つめ直し、気づきや学びの時間を青少年に与える事が、RYLAセミナーの大きな目的です。正にロータリーの青少年奉仕が“育てる奉仕”であることの実証になっています。

受講生の開校式での緊張した顔つきが、最終日に終了証を手渡す時には全員がとても良い笑顔になっているのが印象的で、3日間のセミナーが充実したものであった事が良くわかりました。

このセミナーを通じて出会った友を一生の友人としてつき合ってほしい、そしていつかRYLA学友として世界を良くするために、一歩踏み出す様な若者が出現する事を期待しています。

## 最後のガバナー公式訪問報告

1月15日に那覇西RCを訪問しました。これで私の公式訪問も完了です。

那覇西RCは、青少年奉仕に大変力を入れているクラブです。独自の奨学金制度を設け、県内大学生を対象に毎月4万円を支援しています。沖縄尚学高校と鹿児島県の樟南高校との交流も行い、ジュニアゴルファーの支援を行っていますが、こ

の中からプロになった方も出ています。

インターアクト、ローターアクトも提唱しています。今後委員会数を減らし、委員会毎の委員数を増やして、委員会活動を活発にし、クラブへの出席率の向上につなげたいとの会長の思いをお聞きすることが出来ました。公共イメージの向上については、会員企業である地元新聞を活用しています。

## ガバナー公式訪問 ご報告とお礼

7月17日の東京浅草中央RCからスタートしたガバナー公式訪問は、7か月かけて71クラブを訪問し、1月15日の那覇西RCをもって無事に終了いたしました。温かく迎えてくださった、会員の皆様に心よりお礼申し上げます。また、クラブ会長や幹事の皆様、そしてガバナー補佐はじめ分区分役員の皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されています。現時点では、まだ大規模な感染拡大が認められている地域があるわけではありませんが、感染の流行を早期に終息させるためには、クラスターが次のクラスターを生み出すことを防止することが極めて重要であり、徹底した対策を講じていくべき段階にあると理解しております。

このような状況を鑑み、クラブ例会の休会・縮小およびクラブ主催の会合を延期ないし縮小することをご検討いただければ幸いです。感染拡大の防止という観点から、感染の広がり、会場の状況等を踏まえ、開催の必要性を改めて検討していただくようお願いいたします。なお、地区として一

律の自粛要請を行うものではありません。クラブ例会を変更する際は、通常通りクラブ理事会（緊急時のため、集まらずにメール・インターネット等での開催を推奨）にて決定し、関係各所へ変更事項をご通知ください。

会員やロータリー関係者が罹患したという報告は今のところ把握しておりませんが、東京や沖縄および全国で罹患した方々とそのご家族に心よりお見舞いを申し上げます。治療や感染拡大防止に尽力されている方々に深く感謝申し上げます。感染の拡大ができるだけ早期に収まることを願っております。

### 国際ロータリー出版物 販売終了のお知らせ

これまで、国際ロータリーより印刷版の資料が出版されておりましたが、ロータリーショップ（オンライン）閉設に伴い、2020年3月末をもちまして販売を終了となります。2019年手続要覧につきましても、同様に2020年3月末で販売が終了となります。4月以降は、すべての冊子版資料がご購入できなくなりますので、ご購入を希望される方は、お早めにご注文ください。

### 会員数報告

2019年7月1日クラブ数	71RC
2019年7月1日正会員数 (内女性)	2,990名 202名
2020年1月末日正会員数 (内女性)	3,010名 214名
会員増減数	20名
入会者数	138名
退会者数	118名

※詳細は地区ウェブサイト「[会員数](#)」のページをご覧ください

### ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

#### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

- 4回 金子高一郎（東京ベイ）  
3回 小川 恵司（東京新都心） 林 一好（東京本郷）  
1回 笹川 敏幸（東京新都心） 井田 吉則（東京本郷）  
本郷 滋（東京本郷）

#### ポール・ハリス・フェロー

- 梅野 慶太（東京新都心） 田辺 一宇（東京ワセダ）  
飯塚 貞子（東京本郷）

#### 米山功労者・メジャードナー

- 21回 浅川 皓司（東京王子）  
16回 廣田 健史（東京向島）

#### 米山功労者・マルチプル

- 8回 小出 豊（東京本郷） 當麻 誠（東京東村山）  
3回 潮田 幸一（東京浅草中央） 松本勝太郎（東京浅草中央）  
2回 大瀧 達也（石垣）

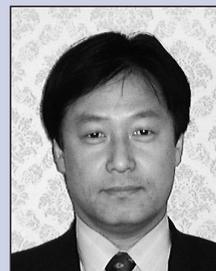
#### 米山功労者

- 江成 信武（東京新都心） 坂田 生子（東京紀尾井町）  
櫛本 健夫（東京本郷）

1月31日分まで 敬称略、順不同

編集者：遠山 明良 2019-20年度地区副幹事 東京ロータリークラブ所属

### [哀悼] 謹んで哀悼の意を表します



東京浅草中央ロータリークラブ

小林 博(こばやしひろし)会員

逝去日 2019年12月25日 享年64

入会日 1996年3月6日

大栄梱包材料(株) 代表取締役

米山功労者

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー